

【2025 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
リハビリテーション特別講義 I		選択	1	1.2	後期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博 他	D317	t-mishina	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	医療や福祉の第一線で活躍している先輩を招き、それぞれの専門性を学び、理解を深める。また、実際の臨床の課題や実践的な話を聞くことによって、将来、臨床において連携し、協働できる臨床家になることを目指す。テーマを設定し関連する臨床家が、それぞれの専門の見地から実践の成果等に関する話題を紹介・解説する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (講義時間内でレポート提出)				
学習上の助言	臨床家の各職場での実践的な内容を展開するので意欲を持って主体的に学習して欲しい。				
教科書	特に指定しない。				
参考書	特に指定しない。				
外部教材	特に指定しない。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	当該分野に関する知識や認識を深めて、視野を広げて考えることができる。			HSU (1)、(4)	
②	当該分野における講義を聞き自分の意見を持ち要約 (表現) することができる。			HSU (2)、(3)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	理学療法士として急性期病院で働くことについて考える。・事例を中心に	9月 3日 [担当] 三科貴博 [講師]	対面授業	急性期における理学療法士業務を復習する。	4
2	理学療法士として維持期施設で働くことについて考える・事例を中心に	9月 10日 [担当] 三科貴博 [講師]	対面授業	維持期における理学療法士業務を復習する。	4
3	作業療法士として急性期病棟で働くことについて考える・事例を中心に	9月 17日 [担当] 小川麻里子 [講師]	対面授業	急性期における作業療法士業務を復習する。	4
4	作業療法士として通所介護施設で働くことについて考える・事例を中心に	10月 1日 [担当] 小川麻里子 [講師]	対面授業	支援学校における作業療法士業務を復習する。	4
5	社会福祉士として障害児施設で働くことについて考える・事例を中心に	10月 8日 [担当] 瀧口綾 [講師]	対面授業	障害児施設での社会福祉士業務を復習する。	4
6	社会福祉士として行政で働くことについて考える・事例を中心に	10月 15日 [担当] 瀧口綾 [講師]	対面授業	行政における社会福祉士業務を復習する	4
7	精神保健福祉士として施設で働くことについて考える・事例を中心に	10月 22日 [担当] 瀧口綾 [講師]	対面授業	施設での精神保健福祉士業務を復習する。	4
8	精神保健福祉士として病院で働くことについて考える・事例を中心に	10月 29日 [担当] 瀧口綾 [講師]	対面授業	病院における精神保健福祉士業務を復習する。	4
試	毎回講義時間内に提出するレポートにて総合評価				

【2025 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	60	0	0	0	60
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	毎回の講義の内容を要約しレポート（100%）として提出し、その内容を持って評価とする。				各レポートにコメントを付けて返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	瀧口 綾（人間コミュニケーション学科）、小川 麻里子（リハビリテーション学科作業療法学コース）						
教員の実務経験	医療・福祉・介護分野で複数年の現場経験者（本学卒業生）。						
実践的授業の内容	医療・福祉・介護分野で複数年現場経験した本学卒業生が学生目線で現場の最新トピックスを解かりやすく解説する。授業時間内で理解したことを整理しレポートにまとめる。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業回に入れ替えや講義日を変更する場合がありますので注意すること。</li> <li>講義上の注意点については第1回目に詳細を伝える。</li> </ul>						